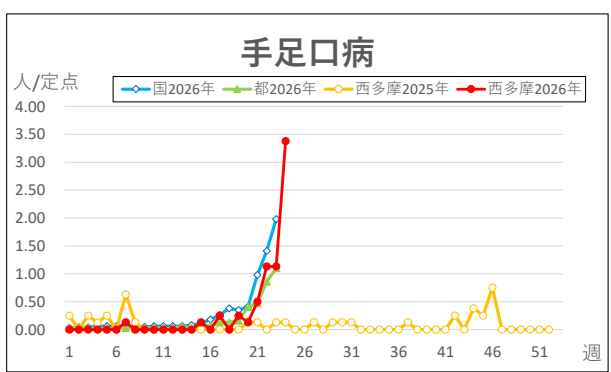
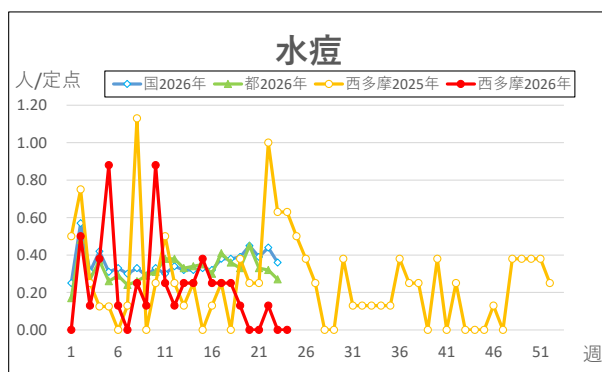
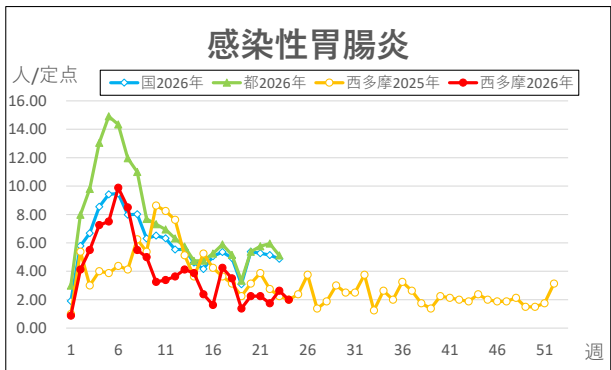
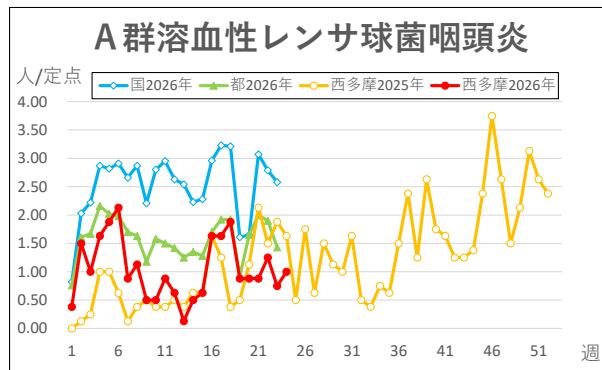
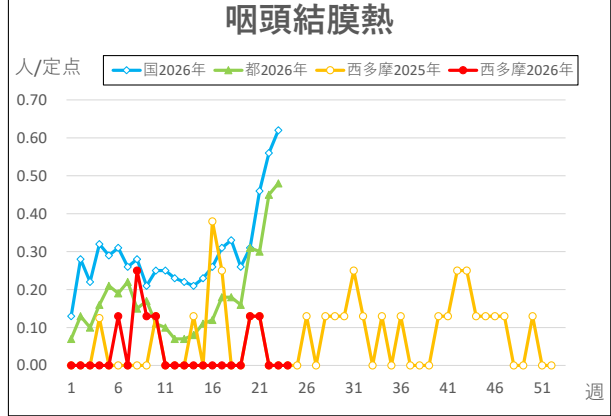
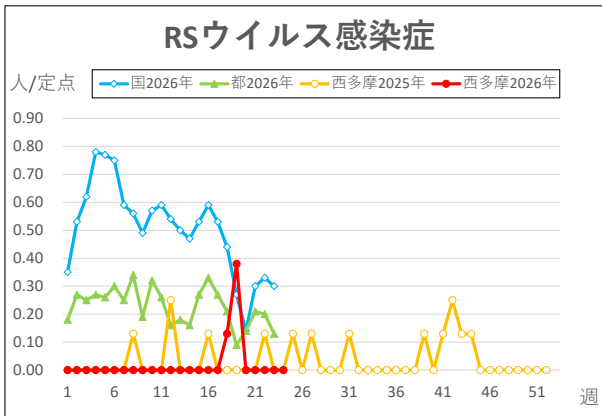
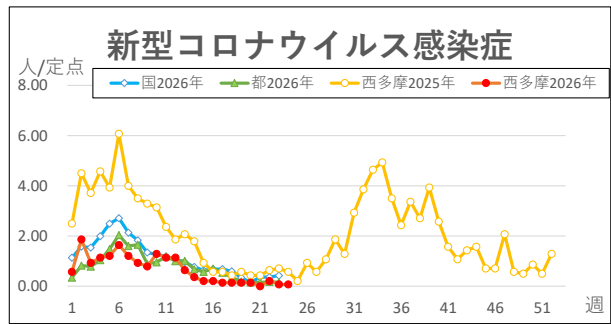
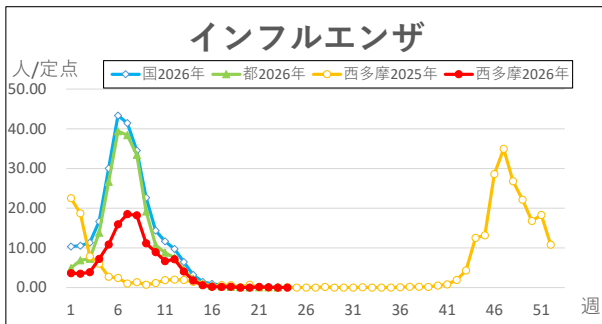


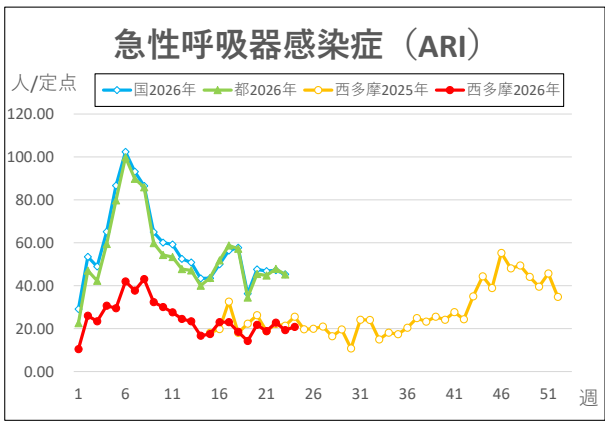
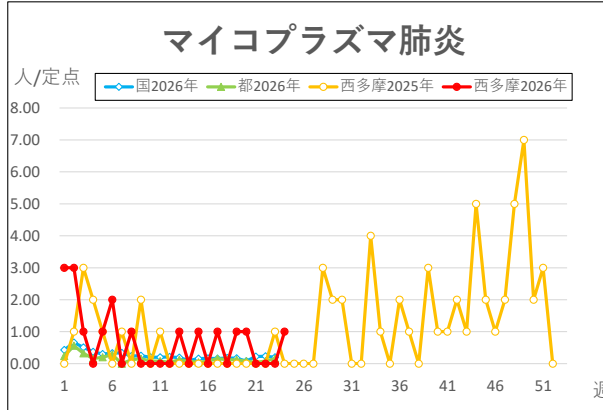
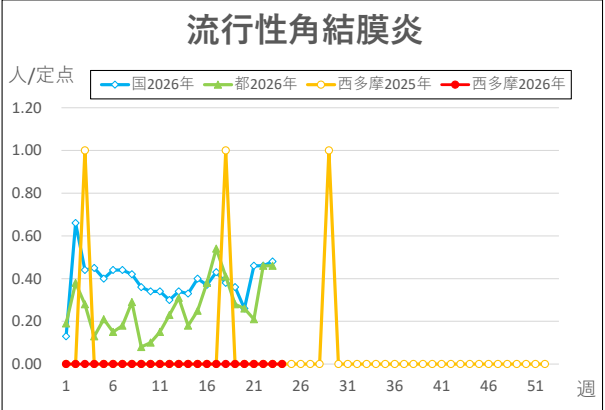
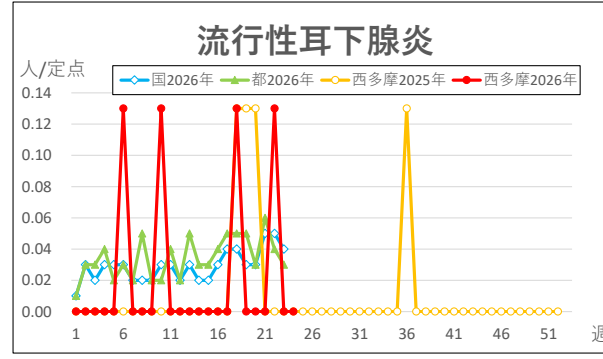
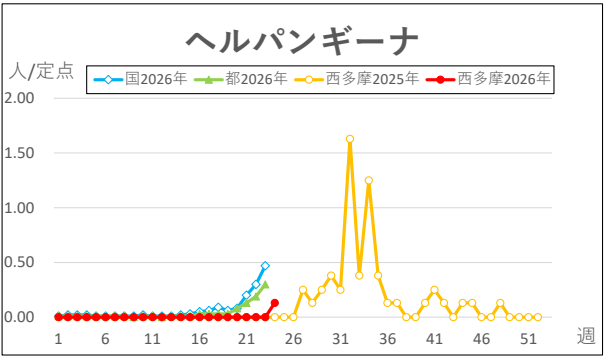
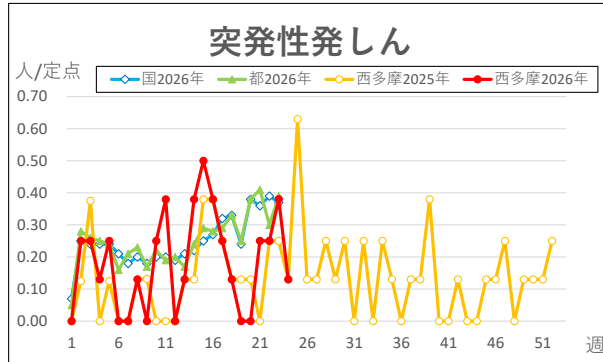
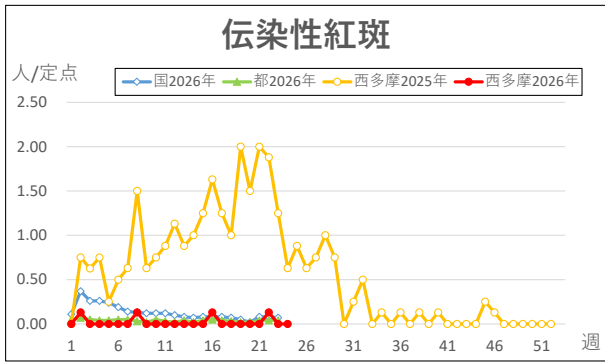
# 西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所  
Tel 0428-22-6141



- \*管内の発生動向及び定点把握対象疾患\*** ( ) は内訳又は前週値
- ・全数届出の疾患は、結核3件(30代男性、60代男性、20代女性)の報告がありました。
  - ・管内では、急性呼吸器感染症 20.79(19.29)、手足口病3.38(1.13)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.00(0.75)、マイコプラズマ肺炎1.00(0.00)、ヘルパンギーナ0.13(0.00)が増えています。特に手足口病は保育施設を中心に流行していますので、石鹸と流水でこまめな手洗いをしましょう。
- \*管内の感染症集団発生状況\*** ( ) は内訳
- ・伝染性膿痂疹1件(障害者施設)の報告がありました。
  - ・手足口病1件(保育施設)の報告がありました。





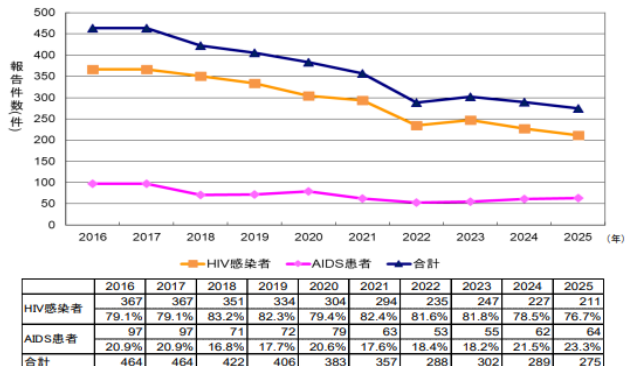
\*今週のトピックス\*

HIV/エイズ（ヒト免疫不全ウイルス・エイズ（後天性免疫不全症候群））①

6/1～6/30は東京都HIV検査・相談月間です。

今回は、東京都の現状、HIVとエイズの違いなどについてお話しします。

1 HIV感染者と AIDS患者 新規報告数年次 推移

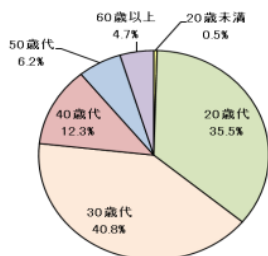


**東京都HIV検査・相談月間**  
2026年 6月1日～6月30日

2 HIV感染者と AIDS患者 年齢階級別 新規報告数と 割合 (2025年)

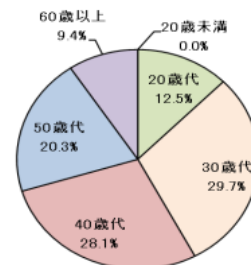
(1) HIV感染者

	HIV(件)
20歳未満	1
20歳代	75
30歳代	86
40歳代	26
50歳代	13
60歳以上	10
合計	211



(2) AIDS患者

	AIDS(件)
20歳未満	0
20歳代	8
30歳代	19
40歳代	18
50歳代	13
60歳以上	6
合計	64



AIDS News Letter 【2026年4月号 No.188】より抜粋

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/aids\\_news\\_letter\\_no-188](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/aids_news_letter_no-188)

現状

令和8年度 東京都HIV検査・相談月間リーフレット

近年約10年間、ゆるやかな減少傾向はみられますが、2割以上の方がエイズを発症した状態で感染が判明しております。年齢層は20歳代～30歳代の若年層の割合が高く、社会的な問題となっております。感染拡大防止のために、早期発見と早期治療がとても大切です。

HIV感染とエイズ (AIDS) の違い

・HIV感染

体の中にHIV（ヒト免疫不全ウイルス）が存在している状態をいいます。自覚症状がほとんどないこともあり、検査を受けなければ本人が気づくことは困難です。

・エイズ (AIDS)

HIVによって体の免疫力が低下し、その結果として、日和見（ひよりみ）感染症（カンジタ症、ニューモシスチス肺炎等の23の病気）など様々な合併症が出た状態をいいます。

早期発見・早期治療のためには、積極的な健診への受診が重要です。

次号では、HIV/エイズの症状、治療、予防などについてお話しします。

○東京都性感染症ナビ HIV/エイズ

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	1週目からの 累計
インフルエンザ	2 (0.14)	3 (0.21)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (0.14)	1 (0.07)	0 (0.00)	0 (0.00)	1,719
新型コロナウイルス感染症	2 (0.14)	2 (0.14)	2 (0.14)	2 (0.14)	0 (0.00)	3 (0.21)	1 (0.07)	1 (0.07)	227
RSウイルス感染症	0 (0.00)	1 (0.13)	3 (0.38)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
咽頭結膜熱	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	1 (0.13)	1 (0.17)	0 (0.00)	0 (0.00)	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13 (1.63)	15 (1.88)	7 (0.88)	7 (0.88)	7 (0.88)	10 (1.25)	6 (0.75)	8 (1.00)	200
感染性胃腸炎	34 (4.25)	28 (3.50)	11 (1.38)	18 (2.25)	18 (2.25)	14 (1.75)	21 (2.63)	16 (2.00)	771
水痘（みずぼうそう）	2 (0.25)	2 (0.25)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	44
手足口病	2 (0.25)	0 (0.00)	2 (0.25)	1 (0.13)	4 (0.50)	9 (1.13)	9 (1.13)	27 (3.38)	56
伝染性紅斑	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
突発性発疹	2 (0.25)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (0.25)	2 (0.25)	3 (0.38)	1 (0.13)	35
ヘルパンギーナ	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	1
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
マイコプラズマ肺炎	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	17
急性呼吸器感染症（ARI）	322 (23.00)	259 (18.50)	199 (14.21)	304 (21.71)	263 (18.79)	319 (22.79)	270 (19.29)	291 (20.79)	8,310

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>